



7 8 9 100  
1 2 3 4 5 6 7 8 9 100  
1 2 3 4 5 6

八九  
4353



仁王尊文略縁起

仰佛法守護の仁王尊として厚と大仏様の一文にて二文と  
三文を仁王と號して三文は鉄綱にて重き故て四文谷五文と  
號せり故に六文の光峯寺以て七文の御傳を書く  
八文のかくより八日を縁日とし九文龍う如く裸毛は立す  
十文の草鞋十一文の足袋十二文脚足を御足てちのきに吉語戲言  
仍十二文の脚足を御捨と奉手賽、錢不投すく信心不  
無事等ト云

至るをやんを

芝全文坊

執事

すと酉のと一の  
をやも正月









内  
山  
印



